

科目名 (Eng)		データベース論 (Foundation of Database Systems)							
担当教員		米本 清							
対象学年等		専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		ビジネスマニケーション学専攻	1	前期	必修	2	(30)	専門	B
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応：(B-1). (B-4情). (C-2). (D-1). (E-2). 修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2). 3). 4). 5).							
授業の概要と方針		データベースの仕組みや役割を示すとともに、実践を通してリレーショナルデータベースの基礎と使い方を学習する。							
到達目標		①データベースの仕組みや役割を理解する。 ②リレーショナルデータベース・SQLの基礎を理解する。 ③基本的なデータベースを作成し操作できるようになる。							
授業計画									
	週	授業項目			理解すべき内容			準備学習	
前期	1	データベースとは(1)			データベースの基本的な考え方			課題を出すので、その都度提出すること	
	2	データベースとは(2)			データベースの構造				
	3	Accessとデータベース(1)			新規データベースの作成				
	4	Accessとデータベース(2)			画面構成				
	5	テーブル(1)			テーブルの作成				
	6	テーブル(2)			テーブルによるデータ操作				
	7	クエリ(1)			クエリの作成				
	8	クエリ(2)			クエリの種類				
	9	データベースの設計(1)			データベースの設計				
	10	データベースの設計(2)			リレーションシップの作成				
	11	SQLの働き(1)			SQLの基本				
	12	SQLの働き(2)			SQLの基本構造				
	13	実践レポートの作成(1)			自らデータベースを作成する				
	14	実践レポートの作成(2)			自らデータベースを作成する				
	15	実践レポートの作成(3)			自ら行った作業の意味を理解しまとめる				
試験について		中間試験は実施しない。期末試験は50分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績70%、小テスト・課題30%で総合的に評価する。							
教科書		Accessはじめてのデータベース改訂3版、牧村あきこ、技術評論社							
参考書									
関連科目									
履修上の注意		自学自習の確認方法：課題を出し、それを定期的に提出させる。							